

# 成果報告書

教育研究課題名	第二言語としての英語のライティングプロセスと結束性 (cohesion) の関係
---------	--

1、補助事業の取組状況 (500字以内)
<p>マッコーリー大学の言語学科にて、選択体系機能言語学 (SFL) の枠組みを用いた第二言語としての英語のライティングプロセス研究に従事した。英語のエッセイライティングにおいて、ライティングプロセスの違いが、最終的なプロダクトの結束性 (cohesion) にどういった影響を与えるかを明らかにすることを試みた。受け入れ教員であるDavid Butt准教授からは、専門であるSFLの観点から、特にライティングの結束性の分析方法に関する助言を受けると同時に、SFLに関する幅広い知見の提供を受けた。期間中は、データの分析を行ったほか、論文や関連書籍などの情報収集を行った。また、オーストラリア国内で開催された、オーストラリア選択体系機能言語学会 (Australian Systemic Functional Linguistics Association Conference) に参加し、SFLに関する最新の研究動向について情報収集を行った。同時に、関連領域である応用言語学の学会や研究会、学科内での研究発表会等にも参加し、多くの研究者との議論を行う機会を持った。</p>

2、補助事業の成果 (500字以内)
<p>分析の結果、英語エッセイライティング課題中の活動によって、最終的なプロダクトの結束性が異なることが明らかになった。特に、ライティング課題序盤において語数の増加が緩やかな傾向を示す書き手については、書き始める前に全体の構成や書く内容についてよく検討していることから、結果として結束性が高い傾向が観察された。また、結束性指標の種類によって、課題中の時系列推移傾向が異なり、熟達度によっても傾向が異なる可能性が示唆された。現在、ライティング課題中のポーズ行動と最終的なプロダクトの結束性の関係性に関する追加分析、ならびにライティング課題中の結束性指標の時系列推移傾向と熟達度の関係についての追加分析を進めるとともに、執筆した論文の投稿に向けた準備を進めている。</p>

所属	職名	氏名
教養部	講師	川口 勇作